

富岡町議会全員協議会日程

日時：令和8年1月13日

時間：午前9時00分

富岡町役場 全員協議会室

開 議 午前8時55分

出席議員（7名）

| | | | |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 議 長 | 堀 本 典 明 君 | 1 番 | 安 藤 正 純 君 |
| 2 番 | 辺 見 珠 美 君 | 3 番 | 平 山 勉 君 |
| 4 番 | 佐 藤 啓 憲 君 | 6 番 | 高 野 匠 美 君 |
| 9 番 | 渡 辺 三 男 君 | | |

欠席議員（2名）

| | | | |
|-----|-----------|-----|-------------|
| 5 番 | 渡 辺 正 道 君 | 7 番 | 宇 佐 神 幸 一 君 |
|-----|-----------|-----|-------------|

欠員議員（1名）

説明のための出席者

| | |
|--------------------------|-----------|
| 町 長 | 山 本 育 男 君 |
| 副 町 長 | 宮 川 大 志 君 |
| 教 育 長 | 武 内 雅 之 君 |
| 総 務 課 長 | 猪 狩 力 君 |
| 企 画 課 長 | 畠 山 信 也 君 |
| 福 祉 課 長 | 佐 藤 邦 春 君 |
| 産 業 振 興 課 長 | 原 田 徳 仁 君 |
| 総 務 課 主 任 長 兼 財 政 係 長 | 吉 田 豊 君 |
| 福 祉 課 子 育 て 支 援 係 長 | 庄 司 智 幸 君 |

職務のための出席者

| | |
|------------------------|---------|
| 議 会 事 務 局 長 事 務 局 長 | 遠 藤 博 生 |
|------------------------|---------|

| | | | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-----|---|---|---|---|
| 議副兼 | 会庶 | 事主務 | 務係 | 局幹長 | 杉 | 本 | 亜 | 季 |
| 議庶 | 会務 | 事係 | 務主 | 局査 | 黒 | 木 | 裕 | 希 |

付議事件

1. 富岡町物価高騰支援事業（案）について
2. その他

開 会 (午前 8時55分)

○議長(堀本典明君) それでは、皆さん、改めまして、おはようございます。ただいまより富岡町議会全員協議会を開会いたします。

ただいまの出席議員は7名であり、欠席議員2名であります。説明のための出席者は、町長、副町長、教育長、そのほか関係課長であります。職務のための出席者は、議会事務局職員であります。

付議事件に入る前に、町長より全員協議会招集内容の説明とご挨拶をいただきたいと思えます。

町長。

○町長(山本育男君) 皆さん、おはようございます。議員の皆様には、お忙しいところ全員協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の全員協議会の案件は、昨年12月の国会において物価高騰対策に係る令和7年度補正予算が成立したことに伴い、本町における物価高騰支援事業案を取りまとめましたことから、その内容についてご説明申し上げるものであります。本支援策の実施に当たっては、昨年11月に閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策において、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を拡充する旨が盛り込まれたことを踏まえ、エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている生活者等に本交付金の効果が直接的に及ぶよう、地域の実情に応じたきめ細やかな取組の早期執行の検討を内閣府より求められております。本日お示しいたします支援事業案につきましては、迅速かつ効果的な実施の観点から速やかなる支援や事務コストの削減を図るとともに、内容の妥当性、運用方法などを総合的に勘案して取りまとめたところであります。町といたしましては、町民の皆様への支援を一刻も早くお届けできるよう取り組んでまいりたいと思っておりますので、議員各位の忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○議長(堀本典明君) ありがとうございます。

それでは、付議事件に入ります。付議事件1、富岡町物価高騰支援事業(案)についての説明を各所管課長より順に求めます。

なお、説明は着席のままで結構です。

総務課長。

○総務課長(猪狩 力君) それでは、富岡町物価高騰支援事業(案)についてご説明をさせていただきます。

議員の皆様も報道等でご承知のとおり、総合経済対策に基づく国の令和7年度補正予算が先月16日に成立し、当該補正予算において盛り込まれた物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援する物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、通称重点支援地方交付金の拡充と、物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援する物価高対応子育て世帯応援手当の支給については、国から全国の自治体に対し、早期の予算化並びに執行を強く求められているところでございます。本日は、今ほどご説

明したうち重点支援地方交付金について、同交付金を活用した富岡町としての物価高騰支援事業の案についてご説明するものでございます。

まず初めに、重点支援地方交付金の概要についてご説明をいたします。お手元資料の1ページに記載のとおり、同交付金は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援を、資料下段の推奨事業メニュー欄に記載の国が提示する10個の推奨事業メニューの中から、各地方公共団体が地域の実情に応じて自由に選択して実施するものとなっております。先月国から通知のありました今回の国補正予算による富岡町の交付限度額は、資料中段枠内に記載のとおり、推奨事業メニュー全体額は1億790万円、そのうち食料品高騰に対する特別加算額は3,518万2,000円と通知されてございます。

続いて、資料2ページを御覧ください。今ほど交付限度額を説明いたしました食料品高騰に対する特別加算の概要についてご説明をいたします。上段枠内に記載のとおり、本特別加算については、生活者に対する食料品の物価高騰への支援策を必須項目として実施するために交付されるものであり、報道等で度々取り上げておりますお米券については、この支援策の一つとして国から提示されているものでございます。資料中段に記載のとおり、本特別加算による支援対象、交付方法、それから支給額などについては、全国一律に実施するものではなく、地域の実情に応じて設定可能であり、生活者への食料品の支援が事業内容に含まれるのであれば、食料品以外も購入できる商品券、電子クーポン、現金等により支援する取組に活用することができます。

資料3ページを御覧ください。今ほどご説明いたしました重点支援地方交付金の概要及び交付限度額を踏まえまして、富岡町として物価高騰支援事業（案）として、現在3つの事業の実施について検討してございます。支援が行き渡る順番にご説明いたします。1つ目は、国全額補助により各市町村を通じて支給される子ども1人当たり2万円の物価高対応子育て世帯応援手当に加え、町独自に1人1万円を上乗せする物価対応子育て世帯応援手当支給事業、続いて2つ目が、必須項目である食料品の物価高騰に対する特別加算として、全町民1人当たり5,000円を現金で給付する食料品物価高騰対応給付金事業、続いて3つ目が、令和7年度事業として実施しております物価高騰対応プレミアム付商品券事業の令和8年度継続実施という、以上の3つの事業です。財源内訳欄に記載のとおり、重点支援地方交付金1億790万円を充当することで実施したいと考えてございます。

各事業の詳細につきましては、福祉課、それから産業振興課の順でご説明をいたしますので、よろしく願いいたします。

○議長（堀本典明君） 福祉課長。

○福祉課長（佐藤邦春君） それでは、私から富岡町物価高騰支援事業（案）のうち、ナンバー1の物価高対応子育て世帯応援手当支給事業についてご説明いたします。

資料の3ページを御覧ください。国では、物価高の影響を強く受けている子育て世帯に対し、物価高対応子育て世帯応援手当として、18歳に達した最初の3月31日までの子ども1人に対し2万円を支給するように決定されました。町といたしましては、第三次富岡町災害復興計画において、妊娠から

出産、子育てまでの切れ目のない支援を掲げており、その実現に向けた町独自の取組として、重点支援地方交付金で子育て世帯の子ども1名に対し1万円を追加し、総額3万円の交付を計画しております。支給対象者は1,384名であり、概算の事業費は1,384万円、財源は1,170万円を重点支援地方交付金で充て、差額を一般財源とするものです。なお、支給開始を本年3月以降、順次実施する計画でございます。

私からの説明は以上です。

○議長（堀本典明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（原田徳仁君） 私からは、資料3ページのナンバー2、ナンバー3を順に説明させていただきます。

ナンバー2、食料品物価高騰対応給付金事業につきましては、その名称のとおり、食料品の物価高騰への支援として、国からはお米券や商品券、現物支給などが例示され、各自治体の実情に応じて取り組むこととされております。町執行部では、町民が国の支援を等しく享受できることが重要と捉え、全国の約390市区町村で生活されている町民が支援を受けることができるよう、数ある手法の中で現金給付を選択いたしました。給付対象者ですが、令和8年1月1日時点の住民登録者約1万1,000人、給付額は1人当たり5,000円、受付方法は、町から発送する給付申込書に振込先となる指定口座などの必要事項を記載の上、町に返信することで受付を行い、その指定口座に令和8年4月以降、順次振り込むことを想定しております。また、今般の給付事業の取組に当たっては、各課などを横断したプロジェクトチームによる事務執行を予定しております。

続いて、ナンバー3、物価高騰対応プレミアム付商品券事業について説明いたします。この事業につきましては、なじみある事業でありますので、令和8年度にプレミアム率50%、販売数を1万8,000セットと計画していることを申し上げ、詳細説明を割愛させていただきます。なお、プレミアム付商品券事業でございますが、令和8年度で10年目を迎えることとなります。町執行部では、10年という一つの節目を迎えることを踏まえ、令和8年度の取組をもって一旦事業を終了とし、今般のような緊急事態等の際に改めて検討することとさせていただきたいと考えております。

私からの説明は以上であります。

○議長（堀本典明君） 総務課長。

○総務課長（猪狩 力君） 以上が町が検討している物価高騰支援事業の概要でございます。本日、議員の皆様からご意見をお伺いした上で、富岡町として実施する物価高騰支援事業を取りまとめるとともに、町民の皆様にも少しでも早く物価高騰に対する支援をお届けすることができるよう、臨時補正予算案の編成作業を行ってまいりたいと考えてございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

説明は以上でございます。

○議長（堀本典明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑ございませんか。

4番議員。

○4番（佐藤啓憲君） 今回国の支援もあるということで物価対策なのですけれども、子どもの支給、そちらを子育て世帯の応援ということで手厚くするというので、私としては賛成なのですけれども、財源を見た中でも一般財源と重点支援の交付金のバランスについてはいいのかななんて思います。

あと最後に、プレミアム付商品券の前年度のプレミアム率が30%だったと思うのですが、その辺の50%から30%にして、また50%にするということなのだと思うのですけれども、販売数とか、そういったもの、分かればぜひ教えていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

○議長（堀本典明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（原田徳仁君） プレミアム付商品券の実績でございますが、今年度においては1万7,000枚を発行してございます。うち実際販売されたのは約8割程度と考えております。今般30%から50%に上げたということは、国の当然交付金等々がありますので、その分加算したという形でありますので、30%は町分、それから20%が国分と考えていただければと思います。30%から50%に上がるということで、販売枚数も広くなるということで、1,000枚ほど追加させていただき、1万8,000セットという形でさせていただきました。

以上でございます。

○議長（堀本典明君） そのほか質問ございませんか。

9番議員。

○9番（渡辺三男君） テレビ、新聞の報道で言われているように、いよいよ物価対策の支援金が出てきたわけですが、2番の食料品物価高騰対応の1人5,000円ですか、これなのですけれども、確かにお金いただくということはありがたい話ですけれども、一番困っているのはやっぱり子どものいる世帯、子育て世帯なのかなと思うのです。この2番を子育て家庭にもう少し上積みして、この2番はなくても私はいいのかなと思うのですが、どうでしょうね。この2番は、3番でも補うことはできませんよね。1番も補うことはできますけれども、できるだけ子育て家庭を応援してやりたいなと私は思いますけれども、どうでしょう。

○議長（堀本典明君） 総務課長。

○総務課長（猪狩 力君） こちら3つ事業ございますが、まずは1点目、子育て世帯、1,384名ということで、お一人2万円にさらに1万円と。今議員おっしゃられたように、2番の食料品のものにつきましては全世界帯の1人当たり5,000円ということで、さらに上積みという考え方でございますので、そもそもが物価高騰支援の子育てについては2万円にさらに1万円追加したということで手厚いものと考えているというところでございますので、総額で、ある程度モデルケース的な世帯で1人5,000円掛ける人数、プラス子育て世帯のいる方につきましては1人当たり3万円ずつという形で提案をさせていただいたところでございますので、ご理解いただければと思います。

以上です。

○議長（堀本典明君） 9番議員。

○9番（渡辺三男君） 手厚い対応してもらっていることは分かるのですが、2番の食料品物価対応の5,000円というのは、あんまり身にならないのかなと思うのです。大人も全てですので。その部分で、あんまり身にならないようなものを出すよりは、子育て世帯にその分また上積みしたほうが身になるのかなと、将来的なことを考えても。

○議長（堀本典明君） 総務課長。

○総務課長（猪狩 力君） すみません。1つ漏れました。先ほど私の説明からも申しあげました1ページ目の推奨事業メニューの5,000円の1番、食料品の物価高騰に対する特別加算というものは、枠内に1億790万円ございますが、食料品の特別加算額3,518万2,000円、お米券などを購入するという部分がございますが、お一人約3,000円を想定したもので計算するところを、これを上回る額を住民の方に支給するという大前提というか、そういうところがございまして、そこを考えて、お米券であるとか、現金であるとか、電子クーポンというようなことでのこの枠を超える1人当たり5,000円という形でございますので、ここは1つ捉えないと、この制度そのものに富岡町が食料品という形での要件を満たしていないというような形で取られるということでございますので、ここは町でお示しました1人当たり5,000円という形で、国からの考え方に基づいた食料品購入ということで、ここを上回るものとして提示してございますので、ご理解いただければと思います。

以上です。

○議長（堀本典明君） 9番議員。

○9番（渡辺三男君） 今の言葉は理解しました。これは国のもう支給メニューの中で、これは必ずやりなさいよということで入っているということね。だとすれば、3番でもその辺はクリアできないのかな。一緒に混ぜこぜになっては駄目だということなのかな。

○議長（堀本典明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（原田徳仁君） 今般2番、3番は産業振興課で検討させていただきましたが、各自治体の実情に応じてという形になりまして、基本各自治体においては住民登録者というところに縛りがかなり多くなっております。となりますと、現在住民票を富岡町に置いたまま市区町村で生活されている方々が支給対象外となる可能性があるかと踏んでおります。そのため、現金給付という手法を取扱いさせていただきました。こちら当然今9番議員がおっしゃったとおり、2番をやらずに3番だけでもいいのではないかとという形でも十分それはなし得ますが、そうなりますと、例えば九州、北海道に生活されている方々が富岡町に来ないと購入できない、支援を享受することができないという形になりますので、そちらは町内を見るという部分で3番目と、それから全国を見るという部分で2番の現金給付の2つの手法を取らせていただきました。かつ子育て関係に力を入れるべきではないかのご質問いただきましたが、1番と2番は別々の事業ですので、端的に申し上げますと、1,384人の方と2番の事業が同じく加算されますので、1,384人の方は3万5,000円という形になりますので、ご理解いただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（堀本典明君） 9 番議員。

○9 番（渡辺三男君） 分かりました。私なんか考えるより、より細かく考えていただいたということだと思うのですが、実情に合ったということになると、我々大人が5,000円いただいて喜ぶかどうか、そこが一番私考えたものですから、まずは理解しました。ありがとうございます。

○議長（堀本典明君） 副町長。

○副町長（宮川大志君） ご意見ありがとうございます。重複するところあるかもしれませんが、私からも一言答弁させていただきたいと思います。

まず、今回国からの様々な交付制度が示されたというところで、町としても非常にこれ悩みました。子育て世帯に手厚くすべきか、あとは例えば高齢の方とか、様々な尺度で、恐らくこれは受け止め方は町でも違いました。各課によっても違ったと。一人一人結構違うところが多いのかなと思いました。なので、今回に限って、まずは町としての今回は決めの問題かなということで、このような形で決めさせていただいたというところがまず1つでございます。決めるに当たっては、まず町内にお住まいの方、町外に避難されている方、あまねく広く皆様にお届けしたいという、まずは広くというところを第一に考えました。その上で、今ほど各課長から答弁ありましたように、個人世帯に直接1人5,000円、世帯ではなく1人5,000円ということでの2番のメニューと、また事業者ももちろん今回の物価高騰等で大きな影響を受けてございますので、事業者を支援するという意味でプレミアム付商品券事業。ひいては個人世帯のためにもなりますので、重複というところで、より多くの支援ということでプレミアム付商品券事業。また、今回特に物入りといいますか、力を入れるというところで子育て世帯というところを広く捉えたというところで、町の中での最大公約数といいますか、そのような形で今回を決めさせていただいたというところでございます。他自治体の支援の内容を見ても、あまり遜色なく、しっかりとサポートできているのかなという印象もでございます。

あと最後に、今回このような形で国の事業を受けて3つの事業をすることになりましたけれども、また今回の物価高騰というのは今後どうなるか、まだ先が読めないというところでございます。国内外の事情が様々違ってくるといことも読めないところでございます。そのときに、また同じような事業があれば、そのときにもう一度立ち返って、どのような支援が必要なのか、どのような世帯が一番困っているのかというところをもう一度そこは町としてしっかり考えて、改めてそこは次なる支援をしていきたいと考えております。今回はこのような形で決めさせていただいたというところを追加で答弁させていただきます。

以上です。

○議長（堀本典明君） そのほかご質問ございませんか。

6 番議員。

○6 番（高野匠美君） 私お願いがあったのですけれども、大変いいことだと思うのです。高齢者の

方だって、5,000円いただいたら、年金暮らしの人は大分1週間くらいは助かると思うのです。それで、全町民に行き渡るといことは、やはり平等性もあるし、大変いいことだと思いますので、よろしくをお願いします。

ただ、2番目の町から発送した給付申込書の返送というところで気になったのは、独り住まいの高齢者の方には家族がいない方もいるのです。それで、郵便物をもらっても、なかなかその辺が理解できていない方も中にはいるのです。だから、努めてそういうところに援助とか何かに入っている方がいらっしゃるのであれば声かけしてもらおうとか、少しでも早く返送してもらおうような町としても声かけをお願いしたいなと思ったのです。

以上です。

○議長（堀本典明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（原田徳仁君） ご指導ありがとうございます。

まず、今般、わざとという形になりますが、アナログ方式で進めさせていただきたいと思います。やはり知らない電話は出ないとか、いろいろありますので、郵送で送らせていただくという形ですが、それもレターパックという形でさせていただきたいと思います。やはりちょっとした封筒ではなく、違ったものという形なので、目に届いていただくような形にしたいなと思っています。その上で、いろいろと記載していただくこと、個人情報等々がありますので、町のプロジェクトチームでしっかりと管理しながら適切に行っていきたいと思います。多くの方々から今問合せが来ております。富岡町はいつなのだという形で問合せが来ておりますので、なるべく早く出したいと思ひますし、またそういう関心が高いところでもありますので、広報等もしっかりとさせていただきたいと思ひます。ご指導ありがとうございます。

○議長（堀本典明君） 企画課長。

○企画課長（畠山信也君） 今ほど産業振興課長が最後に申し上げたとおり、企画課としても情報発信、広報はしっかりと努めてまいります。

以上です。

○議長（堀本典明君） そのほか。

3番議員。

○3番（平山 勉君） 説明ありがとうございます。事業者向けのメニューとして、副町長からプレミアム付商品券の話いただきましたけれども、プレミアム付商品券の場合、必ずしも全事業者に平等というところではないものではありまして、例えば浪江町では事業者の水道料金基本料金半年無料とか、そういうメニューも出ていたので、何か執行部で事業者向けの何か案を検討したかどうか、何か出たかどうかというの、もしあれば教えてもらっていいですか。

○議長（堀本典明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（原田徳仁君） 3番議員おっしゃるとおり、全ての事業者が該当するかというと、

そうではなく、商工会加盟の登録する、プレミアム付商品券を取り扱おうと登録していただいた企業に限られてしまう部分が否めないところではありますが、少なからずとも380近くの会員数がおりますので、そこはカバーできるかなと考えております。また、今ほど出ました水道料金関係でございますが、県内においても水道の基本料金3か月から6か月程度と考えている自治体があります。そちらの実情をいろいろ聞き、確認してみますと、その自治体で賄っている、例えば富岡町だと双葉地方水道企業団でございますので、そこが横並びになるかという部分もいろいろ複雑なことがありましたので、その部分は念頭に入れながら事業を考えておったのですが、そこは複雑になるかなということで、そちらは断念した経緯がございます。全ての事業者の皆さんが享受できるかという部分、難しい部分はあるのですが、少なからずとも、ほぼほぼ該当するのではないかと考えてございますので、町執行部はそのような考え方で進めさせていただきたいと思っております。

○議長（堀本典明君） そのほかございますか。

1 番議員。

○1 番（安藤正純君） 間違っていたらごめんなさいなのですが、これ全予算の1億8,482万円のうちから地方交付金、国からで1億790万円ということで、あとは一般財源、これを見ると、やはり町から出ているお金も結構あるので、この制度が今回の物価高対策で、全て国からの政策なのだよではなくて、町も努力した結果、こういう支援策になりましたと。富岡町もやはりしたたかにPRするとか、町も努力したのだよというものを広報でアピールしてもいいのかなと思います。あと、中身についてなのだけでも、先ほどからの説明で、子ども2万円だったものが3万円になり、子どもも住民だから、1人5,000円も該当するから、3万5,000円だよと、これ結構うまくできているなと思います。ですから、中身は結構充実して、いいものだなと。あと、私もいろいろ相談受けたときに、米作っているのにお米券もらってどうするのだという人もいたので、やはり現金の5,000円、これはいいなと思いますので、1、2、3は私大変賛成します。ただ、富岡町もアピールしてください。これ1点お願いします。

○議長（堀本典明君） 総務課長。

○総務課長（猪狩 力君） ありがとうございます。今回この物価高騰対応支援事業につきましては、それぞれ各課、福祉と産業振興課でいろいろな考え方を持って、町として決定をしたものでございますし、また郡内の他町村等の状況等もいろいろと確認をさせていただいて、こういったメニューとさせていただきます。その中で、副議長が言われたような町としての負担、この金額をどう見るかという部分も内部でいろいろと検討しました。町としても努力している部分について表明すべきだというようなこともお言葉いただきましたので、その点を踏まえて、今回のこの事業をやるに当たって、いろいろとそういった部分を出しながら進めさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（堀本典明君） 1 番議員。

○1番（安藤正純君）　くどいようすけれども、やはり町民の方は比較すると思うのです。どこどこ町はこうだよとか、そういったときに何か富岡町が周回遅れになっていないよと、一番先頭行っているというようなイメージを持ってもらうためにも、やはり広報などで、これだけの金額で努力して、決して国だけにおんぶにだっこしているわけではないよということを、繰り返しますけれども、やってください。お願いします。

○議長（堀本典明君）　総務課長。

○総務課長（猪狩　力君）　ありがとうございます。いただいたご意見を基に、これから町としての取り組んでいる姿勢ということも踏まえて周知したいと思いますので、よろしくお願いします。

　　以上です。

○議長（堀本典明君）　そのほかございませんか。

　　〔「なし」と言う人あり〕

○議長（堀本典明君）　ないようなのですが、私から1点だけ。

　　先ほど6番議員からあったように、高齢者の方が返送など、なかなかこずるような場面あれば、先ほどプロジェクトチームで対応するということがあったので、しっかり時期的にそんなに遅くならないように返信いただけるようなご対応も何か検討していただけるようお願いしておきます。よろしくお願いします。

　　質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

　　町長。

○町長（山本育男君）　それでは、本日ご意見いただきまして、本当にありがとうございます。皆様方からいただいたご意見を中心にしながら、またそれを説明しながら進めてまいりたいと思っております。それで、食料品価格の物価高騰の影響を受けております町民、それから事業者の皆様に対して少しでも早く支給を実施していきたいと考えておりますので、今月中に臨時議会を開きたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

　　私からは以上です。

○議長（堀本典明君）　ありがとうございます。

　　以上をもちまして付議事件1、富岡町物価高騰支援事業（案）についてを終わります。

　　次に、その他に入ります。執行部から何かございますか。

　　〔「ありません」と言う人あり〕

○議長（堀本典明君）　議員の皆様から何かその他ございますか。

　　〔「なし」と言う人あり〕

○議長（堀本典明君）　なければ、以上をもちまして富岡町議会全員協議会を閉会といたします。

　　閉　　会　　（午前　9時29分）